

パブリック・サービス研究分科会

講義年月日 2008年7月14日 午後2時40分～3時40分

講演者 木下 和彦氏 (慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター)

テーマ e-KAMO と KOARA 慶應義塾大学におけるリポジトリへの取り組み

講義内容

1、e-KAMO について <http://mcarchire.sfc.keio.ac.jp/ekamo/>

*e-KAMO とは？

2003年から公開しているSFCにおけるマルチメディアデータベースのこと

SFCに関する資料の集約を目的とする

主に湘南藤沢学会、一般出版物、SFCの写真、メディアセンター発行のガイド類など

*e-KAMO とは何の略？

e-KAMO=Keio Archives in Multimedia Online

SFCのマスコットである「鴨」がモチーフとされている

*学位論文データベースについて

1999年から公開(当初は抄録のみの閲覧)。2001年から全文公開されているデータベース

全文検索を中心としたシステムでSFC(一部信濃町キャンパス含む)のみ公開

*2007年度末に学位論文データベースをe-KAMOに統合

管理・運用コストの面から運用の一本化

検索中心からブラウズも可能なシステムへ

*検索方法・・・カテゴリーから探す

メタデータの検索

全文検索 (学位論文およびPDF形式の文書のみ対象)

*素材提供機関との連携

湘南藤沢学会

学会事務局からデータ提供を受けている。『KEIO SFC REVIEW』、『KEIO SFC JOURNAL』

やプロジェクト研究報告書などを刊行。

*許諾書、著作権に関して

湘南藤沢学会出版物・・・著者から許諾書を回収(学会事務局対応)

SFC YEAR BOOK 委員会提供写真・・・著作権情報を画像中に表示

学位論文・・・論文提出時に学事窓口で許諾書を回収(とりまとめはメディアセンター)

2、KOARA について <http://koara.lib.keio.ac.jp/>

* KOARA とは？

KOARA=KeiO Associated Repository of Academic resources

2007 年に開始された慶應義塾大学学術情報リポジトリ

大学の知の発信と保存を目的とし主に学内の紀要、学会誌、COE 報告書などを収集

貴重書画像等は対象外のため KOARA-A という別のシステムに搭載されている

(<http://koara-a.lib.keio.ac.jp/>)

* 運営

N I I の次世代学術コンテンツ基盤構築事業(CSI 委託事業)を受け 2005 年から検討を開始。

組織上は総合研究推進機構(研究活動の促進のための全学的な組織体)の下に、実質的にはメディアセンターが運営している

* まず最初に三田、日吉キャンパスの紀要、学会誌を中心に搭載

(各紀要、学会誌の発行母体との交渉、大学出版会との連携)

その後、SFC との連携に着手。SFC メディアセンターが仲介役として湘南藤沢学会と交渉

* 検索方法は 3 つ

全文検索

ジャーナル検索 (KOARA のみ)

インデックスツリー

ほかにランキングや新着アイテム、などのリンクも用意

* システム間の連携

1 K-RIS(慶應義塾研究者情報データベース)との連携

KOARA と K-RIS との間で相互リンクを実現

2 EJ-OPAC との連携

メディアセンター作成の EJ-OPAC に KOARA 搭載の雑誌を登録

3 リンクリゾルバとの連携(実験中)

以上